

カトリック河原町教会だより

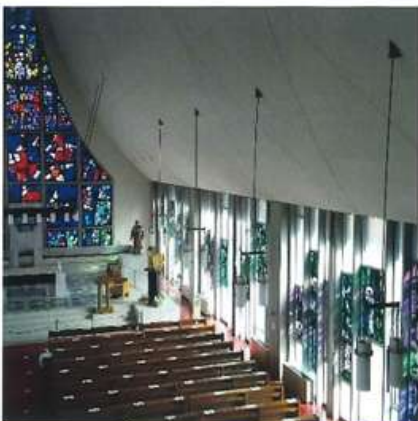
2022年3・4月

教皇フランシスコ 2022年3月27日「お告げの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

この主日の典礼の福音は、いわゆる「放蕩息子」のたとえの箇所です。兄はいつもやるべきことをやり、家を出ることはなかったのです。ですから、御父が、放蕩の限りを尽くしてきた弟を抱きしめるのを見て、憤ります。「あなたのことが理解できません」。これが、兄の憤りです。兄は御父との関係を、単に、言いつけを守ること、やらねばならないという気持ちの上に築いています。これはわたしたちの問題でもありえます。わたしたちの間の、また、わたしたちと神との関係においての問題と言えます。つまり、神が御父であることを見失い、禁止事項と義務から成り立つ遠く離れた宗教を生きてしまうのです。この遠く離れた距離の結果として、わたしたちは隣人に対して頑なになり、隣人をもはや兄弟姉妹として見られなくなってしまうのです。御父はご自分にとって、すべての子どもはご自分のいのちのように大切な存在なのだと言われたいと兄に理解させようとしていました。ある父親が小説の中で語る言葉はとても美しいものです。「わたしが父親になったとき、神が理解できた」（オノレ・ド・バルザック『ゴリオ爺さん』）。「けれども、父よ、弟はたくさんのことをしてきたのです」というでしょう。それでも温かく迎えなさいと御父は言われます。わたしたちはこうしているでしょうか？御父は「良いだろう。息子よ、家に戻って仕事に戻りなさい。部屋に戻って、自分自身と仕事を確立していきなさい」と言われていたなら、これでも十分なゆるしになったかもしれません。しかし、違うのです。神は祝うことなくゆるす方法をご存じではないのです。なぜなら、御父は息子が戻ってきた喜びから、祝わずにはいられない方なのです。想像上の話ですが、父親のこころをよく表している話をしたいと思います。3、4年前のミュージカルで、全体が放蕩息子についての話でした。そして、最後にその放蕩息子が父の元に戻る決心をし、そのことについて友人に相談し、こう言います。「お父さんがわたしを拒絶して、もうゆるしてはくれないのではないかと恐れている」。友人は彼に、「お父さんに手紙を送って、『お父さん、悔い改めました。家に戻りたいのですが、お父さんが喜んでくれるか分かりません。わたしを受け入れてくれるなら、どうか白いハンカチを窓に飾ってください』と書いて送ったらどうか」とアドバイスします。そして、放蕩息子は家へ戻る旅に出ました。家の近くに来て、最後のカーブを曲がり、彼は家の前に来ました。何を見たでしょうか？ハンカチ一つだけではなく、ありとあらゆる窓に白いハンカチがたくさん飾ってあったのです。御父もこのように、完全に喜びのうちに、迎え入れてくださいます。これがわたしたちの御父なのです！

教会の様子(インスタグラムより)



ご復活おめでとうございます

ご復活祭は、苦しみの中にも神さまが共にいてくださり、必ず救ってくださるという教会の信仰を宣言する祝日です。また、キリストを信じる人は永遠に生きるという主の約束も私たちに思い出させてくれます。

さて、この時期になると私は自分の子どもの頃の四旬節の過ごし方を思い出します。私は南インドのケララ州出身です。ケララ州のカトリック信者の多くは使徒トマスの伝統を引き継ぐシロ・マラバル教会に所属しています。私の家族もシロ・マラバル教会に所属しており、多くの古い伝統を今も守っています。その一つは四旬節中の断食や禁欲です。シロ・マラバル典礼ではラテン典礼と違って四旬節は50日間であり、断食と禁欲は子供も含め全員が実践しなければなりません。四旬節中は大好物の肉・魚などを食べることはできないし、テレビや映画などの娯楽も禁止されます。さらに、学校があるにも関わらず早起きして水・金・土・日に教会に行かなければなりません。

聖週間に入ると家族全員が毎日ミサに参加し、受難の神秘を黙想いたします。聖木曜日には、教会でのミサ

後、自宅で過ぎ越し祭の食事を記念し、キリストの最後の晩餐を祝います。聖金曜日には、午後3時から教会から2キロ離れたところにある山を十字架の道行きをしながら登り、山頂で聖金曜日の典礼に与ります。聖金曜日に断食しながら、イエス様の十字架上の苦しみを痛む母マリアによる悲しみの聖歌「パーナ」を一日中歌います。聖土曜日は沈黙のうちに過ごし、日曜日の朝3時ごろ復活祭のミサに参加します。

四旬節中には上記のような習慣があつてつらかった思いもありますが、振り替えてみるとそのような習慣の中で育てられたおかげで信仰が深まり、どんなに苦しい時も人生に意味と喜びを見出すことができるようになりました。また断食と禁欲が“体”への執着について様々なことを考えさせ、この地上で受けたこの“体”をこの地上で捨てなければならないという真実を思い出させてくれます。さらに、本来の自分は神様の似姿で作られ、神様の息吹を共有しており、死後はキリストのように必ず復活されることになっている存在であるということを悟らせてくれます。

聖性を目指して毎日歩んでいる私たちにとってキリストの十字架と復活は自分の力でどうしようもできない私たちの弱さと罪深さを乗り越える恵みを与えてくれます。また、私たちがどんなに苦しい人生をあゆまなければならないとしても、終わりの日に主が私たちをご自分の元に呼び寄せてくださいます。ご復活祭のこれらの温かいメッセージをこころに留めながらこれからの日々を過ごしましょう。主のご復活おめでとうございます。



シスターロサ チェリアン



河原町教会トピックス

ライムンド出水 洋神学生祭壇奉仕者選任式

3月27日 10:30のミサ中に大塚司教様司式により河原町教会出身の出水神学生の祭壇奉仕者選任式が執り行われました。来年助祭叙階、再来年司祭叙階される予定です。出水神学生のためにお祈りください。



選任式の様子



聖体授与を行う出水神学生

洗礼志願式の様子

3月6日 10:30のミサ中に菅原神父様司式により洗礼志願式が執り行われました。
(転会予定者も参加) 4月16日の復活徹夜祭に向けて準備を進めています。



グレアム・マクドナル神父様の葬儀ミサの様子

3月30日に帰天された英語ミサ等でお世話になったマクドナル神父様の葬儀ミサ(非公開)が4月2日 11:00から大塚司教様の司式により執り行われました。享年94歳でした。

神父様の永遠の安息をお祈り下さい。



2022年4月～6月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
4	13	水	教区聖香油ミサ 11:00(非公開)
	14	木	聖木曜日(主の晩さん) 19:00
	15	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎) 19:00 聖地のための献金
	16	土	聖土曜日/復活徹夜祭ミサ 19:00
	17	日	復活の主日ミサ 7:00・10:30・14:00(英語)
	24	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ中 ミサ後お祝い
	30	土	洛東ブロック会議 15:00(オンライン)
5	1	日	[復活節第3主日] 京都教区新信者の集い
	8	日	[復活節第4主日] 世界召命祈願の日
	15	日	[復活節第5主日]
	22	日	[復活節第6主日] 世界広報の日(献金)
	29	日	主の昇天(復活節第7週)
6	5	日	聖霊降臨の主日
	12	日	三位一体の主日(年間第11週)
	19	日	キリストの聖体(年間第12週)
	24	金	イエスのみ心
	26	日	[年間第13主日] 聖ペトロ使徒座への献金 (大塚司教様司教叙階銀祝・済州教区交流祈願の意向)
	29	水	聖ペトロ 聖パウロ使徒

お 知 ら せ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2022. 3. 6 マリア・ローザ・ミカエラ 田中 郁実

◆転入 ようこそ河原町教会へ

2022. 3. 18 マリア・マグダレナ 森本 久美子

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2022. 2. 8 パウロ 伊達 正俊

2022. 2. 13 エリザベト 富井 富美子

2022. 3. 15 テレジア 光家 亮子

2022. 3. 27 ヨゼフ ガブリエル 井田 達也

2022. 3. 29 カタリナ 飼田 美子



祭壇下の鎖を新調



ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

最新の情報はウェブサイトでご確認下さい。

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座
土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座
金曜日 19:00(瀧野神父)
(5/13 からテキスト
「キリスト教の輪郭」)キリスト教入門講座
土曜日 16:00(Sr.テッシーの
チーム)
(5/14 からテキスト
「キリスト教とは何か」)

養成講座(信徒・一般向け)

読書会
「カトリック教会の教え」読書会
水曜日 10:00(瀧野神父)要理通読会
木曜日 11:30(菅原神父)みんなの集い
土曜日 15:00(菅原神父)「ヘブライ人への手紙」を読む
第1土曜日 19:10(菅原神父)「これから洗礼を受けられる方向け」は事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2022.3・4 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>